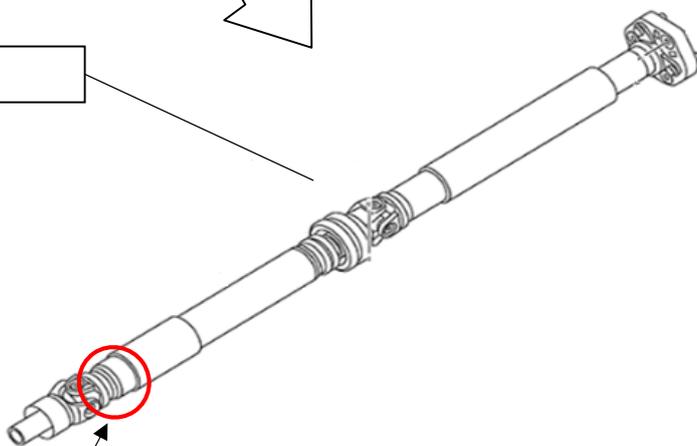


改善箇所説明図



プロペラシャフト



基準不適合発生箇所

プロペラシャフトにおいて、自在接手のパイプへの圧入代が不足していたため、強度が不足しているものがある。そのため、使用過程で当該部位から亀裂が発生し、最悪の場合、プロペラシャフトが破損して走行不能に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、プロペラシャフトを対策品に交換する。

識別：白色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。